

平成27年度 第2回米子市社会教育委員の会 概要

日 時 平成27年12月16日(水) 午前10時～11時30分

場 所 米子市役所本庁舎4階 402会議室

出席者

【委員(順不同)】

ト蔵 久子委員(会長)、小谷 幸久委員(副会長)、黒安 達彦委員、
湯浅 厚子委員、妹尾 多紀一委員、内田 信義委員、安達 博志委員、
松本 寿栄子委員、早原 彰子委員、實近 孝子委員、相見 貴代子委員、
角 力委員(欠席:野村 洋文委員、松原 郁子委員)

【事務局】

永見次長、安田課長補佐、橋本主任

傍聴者 なし

1 開会

2 会長あいさつ

ト蔵久子会長あいさつ

3 説明

(1)平成27年度社会教育施策の状況について

事務局から説明

平成27年度社会教育関係諸事業の進行状況などについて説明

【以下質疑応答】

《ト蔵会長》

ただいまの事務局説明につきまして、委員のみなさんから質問等はございますか。

《松本委員》

タムタムスクールについて質問します。乳幼児期の子どもさんをお持ちの保護者の方が対象ということですが、お子さんの年齢が何歳くらいの方が多く参加されましたでしょうか。

また、バランスよくテーマが選んであってよいと思いますが、今、幼児虐待の低年齢化が進んでいます。その結果、子どもの愛着障がいが多く見られるそうです。そこで、今後のテーマとしてそのような内容を取り入れると、さらに良くなるのではないかと思います。

ます。

《ト蔵会長》

虐待に関しては、講師の方に話しの中で取り入れてもらうようお願いしていますし、今後もさらに力を入れていく予定です。

参加者のお子さんの年齢は、0～1歳児の保護者の方が最も多いです。参加人数は、今年度は全10講座で320名ほどでした。

来年度以降、妊婦さんにも聞いてもらえるようなテーマも考えたいと思っています。

《早原委員》

男女共同参画センター（かぶりあ）についてお聞きします。今後の運営に関して、動きがありますか。新聞報道などでは、駅前イオン3、4階が米子市の所有になるとか。そうなれば、かぶりあがそのまま今の場所にあれば高い借地料を支払う必要もなくなるのではないのでしょうか。

《事務局》

かぶりあは、現在の場所に設置されてから、10年以上が経過しています。当初はにぎわい創出と活性化が目的であったと聞いています。また、確かに当初から借地料が高い、と色々な場面で言われてきました。今後の動きについては、この先まだまだ未確定な部分も多いですが、総合的に考えて場所の選定をすることになると思います。いずれにしても、明確な方針はまだ固まっていません。

《相見委員》

各行事やイベントの広報についてです。全世帯に紙で配る、小中学校の児童生徒に配る、公民館にチラシを置く、市報に掲載するなど、色々な方法があると思いますが、なかなか伝わっていないケースもあります。もう少し力を入れるようお願いしておきます。

《湯浅委員》

どちらの課が担当が分かりませんが、市民大茶会について、市のサポートをもっとお願いしたいと思います。

（米子市観光協会内に実行委員会が設置されている）

（2）全国公民館研究集会 in 鳥取について

事務局から説明

【以下質疑応答】

《實近委員》

私は全体会と、第3分科会に参加しました。「高齢者の生きがいづくりと公民館」がテーマでした。現在、米子市の公民館は高齢者を対象とした事業が多く行われており、その面では充実していると言えますが、他市では施設の面でもっと恵まれているところも

あり、すごいなと感じました。私も高齢者のひとりですが、自分は社会教育委員として何ができるだろうか、と考えていきたいと思います。

《相見委員》

私は全体会に参加しました。当日の会場案内などについて若干手際がよくない点もありましたが、スタッフとして参加された公民館職員の皆さんに感謝したいと思います。

《湯浅委員》

第一分科会に参加しましたが、車尾公民館が実践発表を行っておられ、地域の人材を活かして、地域に根ざした活動をしている、という話しをされました。その点が素晴らしかったと思います。

(3) その他

「米子市社会教育委員、米子市公民館運営審議会委員の任命について」

事務局から説明

両委員が(公募委員を除いて)併任となっていることの経過、問題点を述べ、次期改選のタイミングで併任を取り止め、各会委員数も8～10名程度に減らすことを検討中であると説明。

【以下質疑応答】

《ト蔵会長》

今、事務局から説明がありました。それぞれの会の委員に求められるものを、もっと深く追求するために、このようにしたらどうでしょうか、というお話しでしたが、いかがでしょうか。

《全委員》

大変結構であると思います(拍手多数あり)。

《安達委員》

新しい公募委員の取り扱いはどうなりますか。

《事務局》

次の公募委員の募集についてですが、両会とも2名ずつを予定しており、12月中に米子市ホームページで、また市報1月号でも公表する予定です。

また、社会教育委員の定数は、条例では25名となっています。ただ、実際にそれだけの人数の委員さんが議論するとなると、1日がかかりになってしまいます。そこで、最適な人数として8～10名を想定するものでありますが、今後何か大きな議題が発生する可能性も考え、その条項はそのままにします。

4 その他

《角委員》

2年間、公募委員としてやってきましたが、私は何かの団体から選出された者ではあり

ません。名刺もありませんので、対外的に「社会教育委員です」と言っても、なかなか活動しづらい部分がありました。今後両会の構成を見直し、少数精鋭でやられるのはとてもよいことだと思いますので、みなさん自覚して頑張ってくださいと思います。

《事務局》

名刺につきましては、我々市職員も自己負担で作成しておりますので、事務局での作成は難しいかと思われます。名札のようなものであれば、代替案としてどうかと思います。

《小谷委員》

市民大茶会についてです。私も少し携わっていたことがありまして、湊山公園では地盤が良くない、と以前から言われていました。公会堂がよくなりましたので、そちらを検討してはどうか、と思います。

《妹尾委員》

公民館大学、学習講座などを企画する際に、参加者のニーズをしっかりと把握することが大切だと思います。例えば終活などの講座も、市民からの要求はあると思いますので、ひとつのテーマとして検討されてはいかがか、と思います。

《卜蔵会長》

本日もたくさんご質問いただきました。この2年間、研修や色々な活動に参加いただき、皆さんありがとうございました。今後も、米子市の社会教育の発展に寄与いただきたいと思います。ありがとうございました。

5 閉会